



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」

聖書(エフェソ書5章8節)

牧師 河合裕志

「あなたがたは、以前には暗闇でした」とは何を言ったものか。すぐ前の段落でパウロはあまり感心できない状態をいくつかあげているがこれを当面暗闇と言うのだろう。卑わいな言葉、下品な冗談、みだらな者、食欲な者。更にその前の段落では真実を語らない、盗みを働く、無慈悲といったものをあげている。こうした状態に身を置く者を暗闇、暗闇の子と言うのだろう。

ところがあなたがたは「今は主(キリスト)に結ばれて、光となっています」と言う。光となるとはどういうことか。パウロはこんなことを言って来た。親切、憐れみの心、赦す、神に倣う、愛によって歩む、感謝を表わす…。こうしたものを身に着けている者を光となっている、「光の子」と言うのだろう。

暗闇から光に移るのは望まれることだがその転換点は「主に結ばれて」ということにある。そうでなければ暗闇を離れ、光に変えられることはなかなか難かしい。主に結ばれるとはキリストの私に対する深い愛を知ってキリストと結婚すること。それは具体的には洗礼式で表わされる。以降キリストをパートナーとして歩んで行く。彼より不断に励まされ、慰められ、

清められつつ生きて行く。「つつ」ということで少しずつの変化。100%光となってしまうということではなく、なお影の部分も持っている。この部分を一步一步消して行く。この方向で今信仰者は日々悔い改め、祈りつつ歩みを進めている。ルターは95カ条の提題の最初に述べた。「私たちの主であり師であるイエス・キリストが、『悔い改めよ』と言われたとき、彼は信ずる者の全生涯が悔い改めであることを欲したもうたのである」。

今は主に結ばれて光となった、とパウロ先生はスパッと言い切っているけれど私たちの現実甘いものではない。なお闇の部分を引きずっている。食欲であったり、愛に乏しかったりする。これを日々悔い、都度キリストより新しい赦しと力を与えられつつ前に向かって行く。

そしてキリストはと言えばパウロ以上に言い切っている。「あなたがたは世の光である。あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」(マタイ5章)。ああキリストよ、私たちを助けて少しでも期待に沿う者にして下さい。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時～7時